



延原武春 (指揮)

日本テレマン協会代表、音楽監督・指揮者。

1963年に一早く、バロック音楽を啓蒙する活動を大きな柱としてテレマン・アンサンブル(現・テレマン室内オーケストラ)を創設。「大阪文化祭賞」をはじめ「文化庁芸術祭・優秀賞」「関西初」等の数々の賞を受賞。なかでも86年の「第17回サントリー音楽賞」(関西初)の受賞は大きな反響を呼んだ。

延原を語る上で特筆すべきは「第九」。「ウィーン古典派はバロックの視点から解釈するほうが、現代から遡ってみるよりも自然なものになる」という発想から、1982年、ベートーヴェンの交響曲第9番を初演当時の編成で、しかも当時のメトロノームのテンポ指定に基づいて演奏。この新鮮な解釈は「世界初」であり、画期的な試みとして迎えられた。ガーディナーやホグウッドら古楽系の指揮者が「100人の第九」の演奏テープを参考にするため自国に持ち帰っている。「100人の第九」は人気シリーズとして現在でもザシンプォニーホールにて公演継続中。

08年にはベートーヴェンの交響曲全曲および合唱幻想曲、荘厳ミサ曲の計11曲を、クラシカル楽器を使用する日本初のチャカスを行い、この公演の功績が評価されてドイツ連邦共和国功労勲章功労十字小章章が贈られた。



演劇・ザシンプォニーホール

テレマン室内オーケストラ&テレマン室内合唱団

1963年延原武春により創設された。関西に拠点を置きバロック音楽の普及に優れた功績を持つ。またテレマン作曲「マイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」等の本邦初演作品を紹介し続けた。主な受賞歴は、大阪文化祭賞、大阪府民劇場賞、文化庁芸術祭優秀賞(関西初)等で、なかでも1986年の第17回サントリー音楽賞(関西初)受賞はこの団体の評価を決定的なものにした。

バロック音楽の分野では「バソルパフェスティバル in ライプツィヒ 2003」にて世界初演となる C. P. E. バッハ「チェンバロ協奏曲 Wq1」を好演。その後団体は「指揮者・延原武春の音楽性」をメインテーマとして掲げる方向を改めて打ち出し、その前哨戦となったクラシカル楽器使用の公演「日本テレマン協会第176回定期演奏会 / ハイドンオラトリオ「四季」」(2007年)では「大阪文化祭賞グランプリ」を受賞。08年にはクラシカル楽器を使用してベートーヴェンの交響曲全曲と合唱幻想曲、荘厳ミサ曲の計11曲を6夜にわたって連続公演。これが引金となって指揮者・延原はドイツ連邦共和国功労勲章を受章することになった。テレマン室内管弦楽団は2009年に機構を整備し、「テレマン室内オーケストラ」と改称した。

テレマン室内合唱団は1969年に延原武春が創設。主にテレマン室内オーケストラとともに演奏活動を続けており、85年には「J. S. バッハ生誕300年記念国際祭音楽祭」(ライプツィヒ)に招待され、現地新聞等その外儀も含め当時大きな評判となった。



六車智香 (ソプラ)

ゲスト出演したほか、毎年「朝日・母の日コンサート」や「六車智香クリスマスコンサート」に出演し、いずれも好評を博している。大童謡演劇音楽祭にて大童謡演奏、第3回長江杯国際音楽コンクール声楽部門第1位。97年イタリア声楽コンクール第1位・シエナ大賞を受賞。岩本義久、八木寛好、G バトリックに師事。現在、テレマン室内合唱団ソリス。

熊本県出身。大阪音楽大学音楽学部声楽専攻卒業。恵まれた容姿と陽気な性格で人気を博している。

教会音楽からオペラまで幅広いレパートリーを有しており、これまでに、バッハ「マニフィカト」「クリスマス・オラトリオ」「ロ短調ミサ」、ヴィヴァルディ「グロリア・ミサ」、モーツァルト「大ミサ曲」、ヘンデル「メサイア」、フォーレ「クワイエム」、ボッケリーニ「スターバト・マテル」、ハイ든「天地創造」、ベートーヴェン「第九」等のソロ、ピゼー「カルメン」のミカエラ役のほか、大阪フェスティバルホールでの小林研一郎指揮のマラー「千人の交響曲」において第2ソプラノ・ソリスト、イタリアのモンテローネ市にて親善コンサートなど、多数の公演に出演。

また、1996年から5年連続で朝日新聞主催「阪神大震災の被災者を助ますコンサート」に



中村勢津子 (アルト)

大阪教育大学特設音楽課程声楽科卒業。モーツァルトイテウム音楽院留学。オットリオ・リート、オペラと幅広いレパートリーをこなす。現在、日本テレマン協会会員、コーディネイトコンサート。現在、日本テレマン協会会員、コーディネイトコンサート。現在、日本テレマン協会会員、コーディネイトコンサート。



清水徹太郎 (テノール)

京都市立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。及び同大学院音楽研究科声楽専攻修了。京都市芸術祭新人演奏会にて京都市長賞を受賞。第1回大阪国際音楽コンクール声楽部門第1位。現在、上方オペラ・工房、ヴォーカル・インスティテュート代表。日本音楽教育振興協会理事。



篠部信宏 (バス)

大阪芸術大学芸術学部音楽学卒業。同大学院修士。卒業時に学長賞を受賞。第1回大阪国際音楽コンクール声楽部門第3位。2005年より毎年オランダにて研鑽を積む。現在、シノベムジックアカデミー代表、関西二期生会員、京都バソルパフェスティバル・テレマン室内合唱団ソリス。



浅井咲乃 (ヴァイオリン)

大阪府立夕陽丘高校音楽科、および京都市立芸術大学音楽学部を卒業。大学在学中に結成した京都室内オーケストラの活動が認められ、04年にはバロックヴァール賞を受賞。第6回神戸国際学生音楽コンクール優秀賞を受賞。08年11月日本テレマン協会にソリストとして登壇、絶賛を博す。

抽選で700組1,400名様をご招待!
 (ペアでご招待いたします)

郵便番号

〒50008516 十六銀行 十六支店
 〒50008516 十六銀行 十六支店

〒50008516 十六銀行 十六支店

①郵便番号
 ②住所
 ③氏名
 ④年齢
 ⑤電話番号
 ⑥何でお知りになりましたか?

応募方法 郵便はがきに左記のようにご記入のうえ、お申し込みください。

※郵便はがき以外は無効とさせていただきます。

応募先 〒500-8516 十六銀行プラウド戦略室
 「プロムナードコンサート」事務局

お問い合わせ Tel.058-266-2512

応募締切 2009年11月13日(金) ※当日消印有効

当選発表 抽選の結果は、当選はがきの発送をもって発表とさせていただきます。
 (11月27日(金)発送予定)

ご注意 就学前のお子様のご同伴はご遠慮ください。

※本はがきに収めた個人情報、当コンサート実施以外の目的で利用することはございません。



十六銀行



TM & © Turner Entertainment Co (s09)